



## 2021年度後期定例文連総会を開催しました

来年度の新歓活動の実現をはじめとした  
2022年度前期の文連の活動方針を確立。

2022年度の文連常任委員を選出。  
委員長に神原拓洋くん(国際問題研究会)を再任。

私たち文連加盟サークルは、2月1日、2021年度後期定例文連総会をオンラインで開催しました。来年度の新歓活動を加盟サークルで協力して成功させることを柱とした常任委員会提出の議案を賛成10の満場一致で採決しました。続いて、2022年度の常任委員を選出し、神原拓洋くん(教育学部3年)を委員長に再任しました。以下、本総会について報告します。

### 早稲田サークル文化の着実な発展を切り拓いてきた昨秋冬期

常任委員会から提出された議案をめぐる討論では、まず神原委員長が、昨秋以降、サークルの団結した力で、大学当局によるコロナ対策を理由とした活動規制を許さず、対面でのサークル活動を継続するとともに、昨年11月には有観客公演への制限緩和を勝ちとってきたことを力強く報告しました。これをうけて、各加盟サークルからは、秋冬期にコロナ・パンデミック以降はじめて有観客公演を実現し、充実したサークル活動をおこなってきた自負と誇りに満ちた発言が続きました。文連加盟サークルが協力して、早稲田サークル文化の創造的発展を勝ちとってきた地平を参加者全体で確認しました。

神原委員長は、この画期的地平を、文連加盟サークルが先頭となって、学生会館の開放や対面でのサークル活動への規制緩和を勝ちとることで切り拓いたことを、2年間の文連のとりくみを表にして鮮明に示しました。総会に出席した新旧のサークル幹事は、コロナ・パンデミックの下で早稲田文化サークル活動を着実に前進させてきた軌跡を振り返り、その意義をじっくりと噛みしめました。これからサークル運営を担う新幹事長からは、先輩たちが縦横無尽に展開してきたサークル活動規制緩和のとりくみに共感の声があがりました。



サークル活動の活気あふれる学生会館  
(昨年秋 B2Fの看板作成テラス)

## 来る22年度新歓活動を成功させよう！

続いて、来る2022年度の新歓活動について、神原委員長は、文連の度重なる要求によって、3年ぶりに新歓ブースを設置しての対面での新歓活動を大学当局・学生部に認めさせたことを報告しました。この成果を最大限に活用し、多くの新入生を文連加盟サークルの新たな仲間として獲得していくために、活発な討議が交わされました。新たに幹事長を担うサークル員からは、コロナ以後に入学した自分たちの世代は一回も対面での新歓活動を経験したことがなく、新歓活動をめぐってサークル幹事どうしが意見交換する場や先輩の経験を継承する場が必要だという声があがりました。文連のサークル連合体としての横のつながりを生かして、加盟サークル合同の新歓説明会の開催を提案する意見も出されました。



新入生に宣伝活動するサークルで賑わう大隈銅像前  
(昨年4月の授業開講日の早稲田キャンパス)



コロナ前の新歓活動の様子(11号館ラウンジ)  
3年ぶりに対面での新歓活動を学生部に認めさせたことにふまえ、新入生をどしどしサークルに勧誘しよう!

## 改憲や私立大学「ガバナンス改革」にもサークルから反対の声をあげよう！

さらに、サークルで岸田政権による改憲の問題を研究しているサークル幹事は、自民党の改憲案が、台湾海峡において米中両国の対立が激化するなかで、自衛隊が米軍とともに中国との戦争を遂行する国にふさわしいものへと現行憲法をつくりかえるものだと明確に暴き出し、サークルから改憲反対の声をあげようと呼びかけました。また、1月に文連として政府・文科省の私立大学「ガバナンス改革」に反対する声明をあげたことにふまえて、さらにサークルから教職員と連帯して反対しようという意見もあがりました。

以上の討論を経て、前述のとおり常任委員会提出の議案は満場一致で採決されました。今回の総会の成功にふまえ、私たち文連加盟サークルは、サークルの団結をいっそう強化し、来る新歓活動を大成功させましょう！ 来る2022年度、創造性と批判精神あふれる早稲田サークル文化を前にむけて作りだそう！ 本総会で新たに選出された2022年度の文連常任委員会は、その最先頭で奮闘します。ともにがんばりましょう！

今後、文連では新歓活動に向けた対策会合を開催します。ブースを設置しての対面での新歓活動をどうやったら、多くの新入生を入会させられるか、みんなで話し合いましょう。詳細は文連ツイッター(QRコードはビラ表面に掲載)をチェックしてください。

